

中国用

(様式 1 - 1)

2023 年度「日中植林・植樹国際連帯事業」
助成申請書

記入例(参考)

番 号

2023 年 8 月〇日

公益財団法人 日中友好会館
理事長 小川 正史 殿

東京都〇〇区〇〇8-9-10〇〇ビルディング 11 階
特定非営利活動法人 〇〇〇〇〇
理事長 〇〇 〇〇〇 印

「日中植林・植樹国際連帯事業」による植林事業として下記の事業を実施したいので、
助成を申請します。

記

1 事業の概要

事業名	〇〇省砂漠化防止事業		
植林実施場所 (町名・村名まで詳細に)	〇〇省〇〇市〇〇県〇〇鎮〇〇村	植林面積	30 ha
カウンターパート名称	〇〇〇基金会		
事業の目的	事業実施地である〇〇〇地域は、急激な経済開発による過開墾、過伐採により、砂漠化面積は年々増加し、特に水土の流出が著しく生態環境の悪化、農地の劣化が進行している。さらに同地で発生する黄砂は地域住民の生活に様々な悪影響をもたらしていることから、住民の植林緑化意識が高まっており、近年、一部地域では住民による植林活動が行われている。本事業はこれらの植林活動を支援するため、防風・防砂林の造林を行う。実施に当たっては地域住民に植林の意義や得られる効果などを説明し、積極的な植林活動の参加を促す。また、日本からもボランティアを派遣して現地住人と一緒に植林を行い、日中間の友好関係を深めるものとする。		
助成金交付申請額	8,803,000 円		
事業の内容	実施地域の概況 当該地域は〇〇市北部で北緯〇〇度〇〇分、東経〇〇度〇〇分に位置し、 海拔〇〇m、年平均気温〇度。 乾燥砂漠気候で年間降水量は〇mm、昼夜の気温差が大きく暴風が吹く日数は年間平均〇日、砂漠化の総面積は約〇km ² に及ぶ。		

	地域の人口は約〇万人、8割以上が農民で、土壌流出、砂漠化、黄砂に悩まされている。
事業実施の 緊急性、必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性：〇〇地域は中国全土の黄砂の主な発生源に位置し、近年は砂嵐の頻度と被害が拡大しており、中国のみならずアジア各地の環境にも大きな影響をもたらしており、中国や周辺各国における生態系を保全するうえでも急務である。さらに農地の劣化により地域住人の生活や収入も脅かされている。 ・必要性：本事業の実施は植生回復と砂漠化防止のため、土壌を固め、水土流失を減少するために極めて重要である。また、〇〇地域の生態環境を改善し、住民の経済発展を促進し、持続可能な開発を行うためにも有意義である。
植林の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・樹種・植付本数：〇〇の苗木〇本、△△の苗木△本 ・地拵えの方法：重機使用による全面地拵え ・植付方法：〇m×〇mの草方格を設置し、〇cm（直径）×〇cm（深さ）の植栽穴を掘って植栽する。植栽間隔は〇m×〇m。 ・保育作業：施肥…元肥（地拵え時）、追肥（植栽後〇カ月後） 灌水…〇月～〇月に〇回程度 病虫害対策…〇月頃に薬剤散布 森林火災対策…巡視（月に〇回） ・補植方法（時期、本数）：〇月～〇月に〇本を補植。
苗木の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・規格＜年数・大きさ・苗木の状態（裸苗・ポット苗等）＞： 〇〇 ⇒ 〇年生、約〇cm（ポット苗） △△ ⇒ △年生、約△m（裸苗） ・調達先：現地の苗木業者「〇〇緑化中心」 ・植栽までの苗木の取り扱い・管理方法：ポット苗の〇〇は、植栽まで適宜灌水をする。裸苗の△△については、できるだけ植栽直前に手配し、乾燥しないようにビニールで包み、冷暗所にて保管する。 ・単価（1本あたりの現地通貨、円単価）：〇〇（〇元、〇円） △△（△元、△円） （〇〇市場価格による）
事業実施 スケジュール	<p>～作業計画～</p> <p>〇月 作業道整備 〇m</p> <p>〇～〇月 地拵え 30 ha</p> <p>〇月 植付 30 ha、〇本</p> <p>〇月 保護柵設置 〇m</p> <p>〇～〇月 補植 〇本</p> <p>〇～〇月 灌水、病虫害防止など保育管理</p> <p>～管理運営計画～</p> <p>〇月 カウンターパートと打合せ、植林現場確認等</p> <p>〇月 事業広報活動</p>

	<p>○月 植林ボランティア派遣</p> <p>○月 技術者派遣</p> <p>○月 事業成果確認</p>
<p>全体年次計画 (注1参照)</p>	<p>3年計画 100haの造成</p> <p>第一期(2023年)苗木購入 ○本、植付 30ha</p> <p>第二期(2024年)苗木購入 ○本、植付 40ha</p> <p>第三期(2025年)苗木購入 ○本、植付 30ha</p>
<p>事業実施許可の 取得状況</p>	<p>①〇〇県林業・草原局より、本助成が決定した場合につき事業を実施することについて内諾を得ている。</p> <p>②〇〇〇基金会の業務主管部門である〇〇局より、事業実施許可を取得済み。</p>
<p>植林地の 土地所有権・使用权</p>	<p>植林地の所有・使用証明書類を取得している〇〇鎮(村)より、植林し、森林として維持することについて同意を得ている。</p>
<p>助成事業終了後における 植林地の保育保護 管理方策</p>	<p>カウンターパートである〇〇〇基金会と連携し、専門的林業保護・保育者を組織し、成長状況の定期的確認、灌水や薬剤散布など必要な作業等を実施する。</p>
<p>申請事業にかかる 団体の業務内容、 役割等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地出張(現地打ち合わせ、監督等) ・カウンターパートとの連絡、調整 ・植林内容(計画、スケジュール、植林経費等)の確認 ・植林の進捗状況確認 ・技術者派遣の手配 ・ボランティア派遣の準備、各種手配、派遣プログラムの調整 ・事業完了時の成果確認
<p>技術者派遣計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人数:2名 ・時期・回数:○月 6泊7日 ・派遣目的:専門的観点からの植林内容の確認および日本の植林技術の現地への指導、技術交流 ・活動内容:土壌調査、生育状況確認、活着率確認、技術指導等 ・派遣者名・所属・役職:〇〇 〇〇氏・〇〇大学〇〇学部・教授 △△ △△氏・△△大学△△学部・准教授 ・派遣者の技術的背景<植林の専門性(主な職歴、専門分野等)、緑化分野における活動実績等>: 〇〇 〇〇氏 - 長年砂漠等の乾燥地の研究や調査を専門に行っており、当団体の植林事業も10年以上にわたり中国で技術指導を行っている。 △△ △△氏 - 地質学が専門。当団体植林事業では6年前から植林地の土壌調査を依頼している。

ボランティア等派遣 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人数：20名 ・対象者：当団体会員18名、当団体スタッフ2名 ・時期：○月予定 5泊6日 ・活動内容：現地住民と一緒に植林活動に参加する。2日間で約○本の苗木を植林するほか、最終日は現地住民との交流会を予定。
業務調整・監督のための海外出張計画	<ul style="list-style-type: none"> ・時期：○月 6泊7日 ・活動内容：カウンターパートと植林地の確認、植林の具体的スケジュール、技術者やボランティアの派遣時期やプログラムや日程の打ち合わせを行う。

(注1) 複数年次にわたり継続する事業の場合は「全体年次計画」を記入してください。

(注2) この他、募集要領1. 申請書類(2)～(8)の資料を添付してください。(7)事業位置図とは、地方レベル(県、州等)における植林地の位置を示す図面、事業計画図とは、植林実施場所の形状を示す図面のことです(各サンプルを参照)。

中国用

(様式1-2、様式1-3)

2 事業計画

(円)

(円)

区 分		事 業 量	事業経費	助成経費
植 林	苗木生産	本	0	0
	苗木購入	27,000本	2,273,000	2,273,000
	補植用苗木 (生産・購入)	3,000本	241,000	241,000
	地拵え	30ha	638,000	638,000
	植付け	30ha	696,000	696,000
	補植	30ha	696,000	696,000
	小 計			4,544,000
下 刈		30ha	464,000	464,000
保 育		30ha	765,000	765,000
機材・資材調達費			258,000	0
基盤整備費			718,000	0
普及啓発活動費			0	0
小 計			6,749,000	5,773,000
事務経費	事務経費(①～⑥)		205,000	200,000
	人件費(⑦)	2人	204,000	150,000
	海外出張経費(⑧)	1人	175,000	175,000
	海外出張経費(⑧) (感染症防止対策経費)	1人	180,000	180,000
技術者派遣経費	技術者派遣経費	2人	630,000	630,000
	技術者派遣経費 (感染症防止対策経費)	2人	641,000	641,000
ボランティア等 派遣経費	ボランティア等 派遣経費	20人	1,624,000	1,054,000
合 計			¥10,408,000	¥8,803,000

3 収入・支出計画

(1) 収 入

(円)

種 別	合 計
「日中植林・植樹国際連帯事業」助成金	8,803,000
その他助成金 ()	0
自己資金	629,000
中国側負担	976,000
合 計	¥10,408,000

※機材・資材調達や基盤整備の費用は中国側が負担する事業であること。

3 収入・支出計画

(2) 支出

積算内訳		現地通貨 (元)	換算レート (円)	単価(円)	数量	単価×数量(円)	事業経費(円) (千円未満切捨て)	助成経費(円)	その他 助成金(円)	自己資金(円)	中国側負担(円)		
記入例	苗木購入代	アブラマツ(油松)	7	16.95	118.65	30,500 本	3,618,825	3,618,000	3,000,000		618,000		
植林	苗木生産			0.00		本	0	0					
	苗木購入	アブラマツ(油松)苗木	5.0	19.35	96.75	20,000 本	1,935,000	1,935,000	1,935,000				
		〇〇苗木	2.5	19.35	48.375	7,000 本	338,625	338,000	338,000				
	補植用苗木 (生産・購入)	アブラマツ(油松)苗木	5.0	19.35	96.75	2,000 本	193,500	193,000	193,000				
		〇〇苗木	2.5	19.35	48.375	1,000 本	48,375	48,000	48,000				
	地拵え	1日当り賃金110元×10人 (1ha)	1,100.0	19.35	21,285.00	30 ha	638,550	638,000	638,000				
	植付け	1日当り賃金80元×15人 (1ha)	1,200.0	19.35	23,220.00	30 ha	696,600	696,000	696,000				
補植	1日当り賃金80元×15人 (1ha)	1,200.0	19.35	23,220.00	30 ha	696,600	696,000	696,000					
小計							4,547,250	4,544,000	4,544,000	0	0	0	
下刈	1日当り賃金80元×10人 (1ha)	800.0	19.35	15,480.00	30 ha	464,400	464,000	464,000					
小計							464,400	464,000	464,000	0	0	0	
保育	植栽木の保育 管理	1日当り賃金60元×10人 (1ha) 灌水	600.0	19.35	11,610.00	30 ha	348,300	348,000	348,000				
		1日当り賃金72元×10人 (1ha) 病虫害対策	720.0	19.35	13,932.00	30 ha	417,960	417,000	417,000				
小計							766,260	765,000	765,000	0	0	0	
機材・資材 調達費	森林造成用器具 及び機材	シャベル	50.0	19.35	967.50	100 本	96,750	96,000			96,000		
		給水桶	18.0	19.35	348.30	100 個	34,830	34,000			34,000		
	肥料・薬剤及び土 壌改良材	肥料(1t)	1,415.0	19.35	27,380.25	3 t	82,140	82,000			82,000		
	事業活動用車両	資材運搬用(1台)	1,200.0	19.35	23,220.00	2 日	46,440	46,000			46,000		
小計							260,160	258,000	0	0	0	258,000	
基盤 整備費	作業計画の作成		2,000.0	19.35	38,700.00	1 式	38,700	38,000			38,000		
	苗畑整備						0	0					
	防護柵整備	1km/3,000元	3,000.0	19.35	58,050.00	3 km	174,150	174,000			174,000		
	灌水施設整備	1箇所/4,350元	4,350.0	19.35	84,172.50	2 箇所	168,345	168,000			168,000		
	作業道等整備	1km/3,500元	3,500.0	19.35	67,725.00	5 km	338,625	338,000			338,000		
	山火事防止施設				0.00		0	0					
	小規模治山施設				0.00		0	0					
	その他基盤整備に 必要な経費				0.00		0	0					
小計							719,820	718,000	0	0	0	718,000	
普及 啓発 費	印刷代			0.00			0	0					
	看板代			0.00			0	0					
	会場費			0.00			0	0					
小計							0	0	0	0	0	0	
事務 経費	事務経費 (①~⑥)	①事務用品費			10,000.00	1 式	10,000	10,000	10,000				
		②印刷費			10,000.00	1 式	10,000	10,000	10,000				
		③通信費			5,000.00	1 式	5,000	5,000	0		5,000		
		④振込手数料			2,500.00	2 回	5,000	5,000	5,000				
		⑤翻訳料			150,000.00	1 式	150,000	150,000	150,000				
		⑥事業実施にあたり対象国 で許可が必要な場合の経費			25,000.00	1 式	25,000	25,000	25,000				
	小計							205,000	205,000	200,000	0	5,000	0
	⑦人件費	常勤職員			1,500.00	100 時間	150,000	150,000	150,000				
		非常勤職員			1,300.00	42 時間	54,600	54,000			54,000		
					0.00	時間	0	0					
小計							204,600	204,000	150,000	0	54,000	0	
⑧海外出張経費	交通費(国際線往復) 成田-北京			100,000.00	1 名	100,000	100,000	100,000					
	交通費(中国国内線往復) 北京-〇〇	1,200.0	19.35	23,220.00	1 名	23,220	23,000	23,000					
	宿泊費(〇〇ホテル) 1泊450元	450.0	19.35	8,707.50	6 泊	52,245	52,000	52,000					
小計							175,465	175,000	175,000	0	0	0	
⑨海外出張経費 (感染症防止対策 経費)	宿泊費(北京〇ホテル) 1泊600元	600.0	19.35	11,610.00	13 泊	150,930	150,000	150,000					
	PCR検査費用(出国時、隔 離期間中、帰国時)			30,000.00	1 名	30,000	30,000	30,000					
小計							180,930	180,000	180,000	0	0	0	

技術者 派遣経費	謝金 (20,000円×7日)			140,000.00	2名	280,000	280,000	280,000			
	交通費 (国際線往復) 成田—北京			100,000.00	2名	200,000	200,000	200,000			
	交通費 (中国国内線往復) 北京—〇〇	1,200.0	19.35	23,220.00	2名	46,440	46,000	46,000			
	宿泊費 (〇〇ホテル) 1泊450元×2名	900.0	19.35	17,415.00	6泊	104,490	104,000	104,000			
小計						630,930	630,000	630,000	0	0	0
技術者 派遣経費 (感染症防止 対策経費)	謝金 (10,000円×14日)			140,000.00	2名	280,000	280,000	280,000			
	宿泊費 (北京〇ホテル) 1泊600元×2名	1,200.0	19.35	23,220.00	13泊	301,860	301,000	301,000			
	PCR検査費用 (出国時、隔 離期間中、帰国時)			30,000.00	2名	60,000	60,000	60,000			
	小計						641,860	641,000	641,000	0	0
ボラン ティア 等派 遣経 費	交通費 (中国国内線往復) 北京—〇〇	1,200.0	19.35	23,220.00	20名	464,400	464,000	464,000			
	交通費 (大型バス)	2,500.0	19.35	48,375.00	6日	290,250	290,000	290,000			
	宿泊費 (〇〇ホテル) 1泊450元×20名	9,000.0	19.35	174,150.00	5泊	870,750	870,000	300,000		570,000	
	小計						1,625,400	1,624,000	1,054,000	0	570,000
合計						10,422,075	¥10,408,000	¥8,803,000	¥0	¥629,000	¥976,000

共通

(様式1 - 4)

4 団体の概要

団体名	特定非営利活動法人 ○○○○○	代表者役職・氏名	理事長 ○○ ○○○
事務所所在地	〒123-4567 東京都○○区○○8-9-10○○ビルディング 11階		
TEL/FAX	TEL : 03-○○○○○-○○○○○	FAX : 03-○○○○○-○○○○○	
団体HP	URL : https://www.○○○.○.○○/		
組織	常勤役員数 : ○名	非常勤役員数 : ○名	
	会員数 : ○○名		
沿革	19○○年に設立。 主に中国、東南アジアを中心とした地域での植林事業の支援やボランティア活動を行うために任意団体として設立した。19○○年には○○の活動を開始。20○○年には特定非営利活動法人○○○○○として法人登記を行った。		
目的	※定款、寄付行為、又はこれに準ずる規約を参考として記載してください		
中国または第三国における活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19○○～19○○年 ○○の助成金で中国○○省に 100ha の植林を実施 ・ 19○○～20○○年 ○○の資金でフィリピン○○州に 20ha の植林を実施 ・ 20○○～20○○年 ○○の助成金でラオス南部に 15ha の植林を実施 ・ 20○○年 25名の大学生をモンゴルへ派遣して○○の植林ボランティアを実施 		
直近会計年(度)の収支状況	総収入額 : ○○○○千円		
	総支出額 : ○○○○千円		
担当者及び連絡先	所属 : ○○部	役職・氏名 : ○○部長 ○○ ○○○	
	TEL : 03-○○○○○-○○○○○	E-mail : ○○○@ncykkk.○○	
その他	※その他、必要事項、参考になる事項について記載してください		

5 カウンターパートの概要

名称	○○○基金会
住所	〒○○○○○○○ 中国○○省○○市○○鎮○○村
連絡先	TEL : 86-○○-○○○○○○○○○ E-mail : ○○○@cgk.○○
組織概要・活動内容	これまでも当団体と植林活動を実施してきた経験がある。植林の専門家が一定数在籍しており、植林に関する知識・経験は豊富である。会員も○人以上おり、植林活動の他、○○や○○などのボランティア活動も長期にわたり実施している。現地住民との関係も良好で、日中友好の植林事業を实

	施する窓口としても信頼できる団体である。
申請団体との 協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19〇〇～19〇〇年 〇〇の助成金で中国〇〇省に 100ha の植林を実施 ・ 20〇〇～20〇〇年 〇〇〇の助成金で中国〇〇省に 30ha の植林を実施 ・ 20〇〇年〇月 当団体派遣の植林ボランティア訪中団の受入れ。〇〇省で植林活動やホームビジットを実施
申請事業にかかる 業務内容・役割等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植林地選定、測量など、植林計画にかかる業務 ・ 植林スケジュール、植林経費等の管理 ・ 現地作業の監督 ・ 植林の進捗状況視察、確認 ・ 技術者の植林地案内 ・ ボランティア派遣の受け入れ、植林地案内 ・ 植林成果の確認と当団体への報告
担当者	所属： _____ 氏名：〇 〇〇